

◇ ◇ ◇ プログラムご紹介 ◇ ◇ ◇

15:30 開会宣言

□ナビゲータ:

野呂 直子氏 ((株)野村総合研究所 コーポレートコミュニケーション部 部長)

「レガシーシステムで財団業界に革命を」

米澤 隆之 氏 ((株)リンクレア 第1技術本部 第2部 マネジャ)

■発表内容

約20年前に開発、導入した日本財団の基幹システムは、改修を続けながらも現在も現役で稼働し続けている。

このシステムは典型的なウォーターフォールアプローチで開発された。アーキテクチャも、実績を重視したレガシーなもので構成されている。

業務のあるべき姿を第一に考え、お客様とともに作り上げたシステムならば、革新的なアーキテクチャを用いずとも、業務に対する意識改革、組織活動に付加価値をもたらすことができる。

日本財団、SPFのような大規模財団は稀有であり、その他は20名以下の小規模財団が多くを占めている。すべての財団がIT投資予算を確保できているわけではないのだ。情報システムを持たず、一担当者が自作のツールやExcel表を駆使し、助成業務を続けている財団も少なくない。

そのような財団にも、ソフトウェアの力を利用して意識改革をもたらしたい。

GetSetGo チーム ((株)シーエーシー クライアントビジネスカンパニー所属
社員4名)

■発表内容

CACは近年グローバル化戦略の一環として外国籍社員の採用を進めてきた。しかし、それに伴い文化および仕事のやり方の相違に戸惑う社員も増加している。この問題に対するCACのこれまでの取り組みと現場目線で考える今後の改善策について、外国籍を含む4名の若手社員が紹介する。(発表は主に日本語で実施)

「多様な経験と知識を活かせる仕事」

福井 寛之氏（株） [(クロスキャット 法人ビジネス事業部 BI 部)]

■ 発表内容

Business Intelligence (BI) 技術をご存じですか？ 企業・組織に蓄積されたデータを分析、可視化することで経営の意思決定に役立てる手法であり、クロスキャットの重要な事業の柱のひとつである。

BI ツール導入サービスは、小規模チームで進行することが常で、上流工程から開発、テストまで一人でこなすことも珍しくない。ユーザーの業種も広範で、情シスだけでなく業務部門の上層部との対話もあり、都度新たな刺激と発見の連続である。

入社以来3年間、BIプロジェクトに携わってきた中で、これまで経験した仕事の醍醐味や今後のキャリアの展望について語ってみたい。

質疑応答

情報交換会

閉会 18:00